
シニア世界選手権2015 (9)

フランス・エギュベレット 30/Aug/2015-06/Sep/2015

遠征レポート - 2015年9月2日



LM1x 須田選手 (アイリスオーヤマ)



LW2x 富田選手（明治大学）・大石選手（中部プラントサービス）

9月2日(水) レース4日目

昨日まで降っていた雨は朝までには止んでおり、予報ではこれからは降雨はないとのことでした。コーチと男子ダブルは6:30出発のバスでコースへ。辺りはまだ暗く、日に日に、日の出が遅くなっているのが感じられます。

コースに着くと、対岸の山に低く雲がかかり、山が半分隠れていました。昨日よりも気温がまたぐっと下がり、上下の長袖ジャージを着ていても寒いと感じるくらいです。コースでは大量の雨が降ったため、地面が剥き出しの場所はぬかるんでいました。コーチ2人は選手が来る前にびしょ濡れになった艇を丁寧に拭き上げていました。

順次選手が到着し乗艇。本日レースがあるのは男子ダブル、ペア、女子ダブル、フォアとなっています。女子ダブルとフォアはここでsemifinal A/Bに進出することがオリンピック出場枠をとるために必要となります。

まず男子ダブルが蹴り出しました。

10:15発艇。前半ウズベキスタンにトップを許しましたが、後半安定したスピードで追いつき、1着でゴール。Final Eに進みます。昨日同様、波もあり、前半に横風を受けたようです。

次は11:00の須田選手のレース。前半まで先頭集団に少し遅れて着いていく形になりましたが、後半は4位だった中国を抜き、3着争いに食いこめそうな勢いでしたが、届かず、4着でした。明日のSemifinal C/Dに進出です。

12:10 女子ダブル発艇。レースは初日ぶりで、しばらく間が空いてしまいました。序盤よりトップに遅れ、追いかける形の苦しいレース。なかなか順位を動かすことができず、最初から同じでそのまま5着でフィニッシュ。Semifinal C/Dに回るため、オリンピック出場枠を逃しました。



LM4- 西村選手（NTT東日本）・田立選手（戸田中央総合病院RC）・片岡選手（明治安田生命）・今井選手（NTT東日本）

日本勢ラストのレースは13:00からのLM4-のレース。2着までがSemifinal A/Bに進出できます。スタートからイタリアが圧倒的なスピード、2着争いのギリシャとオーストリア、そして最後にロシアと日本が並ぶ形でレースが進み、トップとは10秒以上の差をつけられ、並んでいたロシアにもラストで追い抜かされてしまいました。Semifinal C/Dに進出するため、オリンピック出場枠はとることができませんでした。

本日の結果で、どのクルーもFinal B以上にはいけないことが確定しました。オリンピック種目であるLM4-、LM2X、LW2Xについては世界選手権で11位以内に入ると出場枠を獲得できたのですが、叶いませんでした。あとは来年4月にあるアジア大陸予選(スカル種目)、5月にあるスweep予選が最後のチャンスとなります。

次なる目標を見据えて、前進あるのみです。



LM2x 中野選手（NTT東日本）・大元選手（アイリスオーヤマ）